

清泉女子大学 地球市民学部

地域共生領域・ソーシャルデザイン領域



← 【マラウィFW】



← 【韓国FW】



← 【ラオスFW】



← 【フィリピンFW】



← 【マレーシアFW】

※今後増減する可能性があります。

※新型コロナウイルス感染症などの状況によって、実施の可否を含め内容が変更になる可能性があります。

※各フィールドワークには定員が設定され、希望者全員が参加できない可能性もあります。

2025年度開講予定FW一覧

FW	担当教員	内容	期間	費用	定員	選考方法（締め切り）	その他
フィールドワーク2／フィールドワーク4（教員の同行あり）							
韓国	西村美保	韓国の急速な少子高齢化に伴う外国人労働者の受け入れや韓国語教育などのテーマを扱う予定ですが、受講する学生と相談しながら、具体的に計画を立てていきます。 協定校の韓国カトリック大学、大邱カトリック大学ほか、大学生との交流も行います。なじみのある国・韓国をより深く知ることができるフィールドワークです。	8月下旬～9月中旬（10日間～2週間程度）	未定（航空券＋宿泊費＋現地活動費実費）	最大15名程度	事前エントリー者を優先 https://forms.gle/gNcNgmz9DztAXnR5A	
マラウイ	鈴木直喜	マラウイの都市と農村を訪問し、さまざまな場所の調査、ホームステイを通じた生活体験から、豊かさや直面している課題を学びます。学生が計画して運営していきます。 現地で活動しているJICA海外協力隊員（学科卒業生）の訪問もします。 海外派遣コース（JICA海外協力隊派遣）を希望する人も、参加ください。	8月10日前後から18日間	航空券25万程度、現地生活費13万程度（宿泊、移動、食事等）	最大13名		
フィールドワーク1：マレーシア、フィリピン、ラオス（教員の同行はないが、現地受け入れ団体あり）							
マレーシア	鈴木直喜（パルシック）	多様な人びとがつくる社会での活動を体験し、「地球市民」として生きるためのヒントを学びます。	8月下旬～9月中旬（10日間）	約30万円（航空券＋活動費）	最少催行人数5名、最大15名まで	現時点での選考は無し	参加者が少ない場合、開催されない場合もあります。
フィリピン	佐々木萌	フィリピン・ネグロス島の山間部における貧困と教育課題を学びます。	9月中旬（11泊12日）	プログラム費：約29万円（航空券＋活動費） ※変動する可能性あり	最小催行人数8名、最大16名まで	現時点での選考は無し	参加者が少ない場合、開催されない場合もあります。
ラオス	佐々木萌	ラオスにおける教育とダイバーシティに焦点を当て、現地の同世代の人たちとの交流をします。	9月中旬（11泊12日）	プログラム費：約37万円（航空券＋活動費） ※変動する可能性あり	最小最高人数8名、最大16名まで	現時点での選考は無し	参加者が少ない場合、開催されない場合もあります。